



三春中学校だより

第19号

発行日 平成30年 7月18日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動実施中！～たった一つのかげがえのない命を大切に。～】

7月16日（月）～25日（水）までの10日間、年間スローガンを『みんながね ルール守ればほら笑顔』、夏の運動スローガンを『ぶつかるよ ながら運転 じこのもと』として、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が展開されています。運動の重点4つのうち、1番目が、「子どもと高齢者の交通事故防止」、2番目が、「自転車の交通事故防止」、3番目が、「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」、最後に、「飲酒運転、無免許運転及び速度超過など悪質・危険な運転の根絶」が挙げられています。

5月31日現在、子どもの交通事故傷者119人中、自動車同乗中のけがが80人（70.5%）を占めました。さらには、6月末現在、子どもから大人までの交通事故死者数は34人と前年同期より10人増加し、増加率は全国ワースト3ということです。学校への送迎やお出かけの際の事故防止（降車後の前後の横断、全席シートベルトなど）を今後も必ずお願いします。

自転車の交通安全に関しては、5月31日現在、死者2人、傷者164人、そのうち97人が交通違反を犯した中での事故だったそうです。坂が多いという三春町の特徴を理解した運転（スピードは控える、物陰からの飛び出しに注意、路面状況の把握と転倒防止、ヘルメットの必着など）を心がけましょう。自分の命は自分で守りましょう。

シートベルト着用に関しては、5月31日現在、四輪自動車の交通事故死者は17名おり、そのうち、非着用者6人、うち3人はシートベルト着用で救命効果があったと考えられるそうです。全席シートベルト着用、バスやタクシー乗車の際もシートベルトは必ず着用しましょう。

また、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動のパンフレットの最後の部分には、『『あおり運転』絶対ダメ』の文字もありました。みんなが交通ルール・マナー・道徳を守り、思いやりや譲り合いの気持ちで、かけがえのないたった一つの命を守ってまいりましょう。

【研修報告『スマホ・SNS時代の望ましい意思決定・行動選択とは』】

福島県教育センター主任実習講師 目黒朋子先生

（前号からの続き）

4 SNSとAI（人工知能）の関係

“2045年問題”というものがある。これから27年後、コンピュータ技術が人類の知能を超え、究極の人工知能が登場し、『シンギュラリティ』（技術的特異点）をむかえるかもしれないというものだ。このままのスピードでAIが進化し続けると、AIが新たに自分より優秀なAIを作り出し、そのAIがさらに自分より優秀なAIをというふうに進化していき、2045年には、人類の知能を超えてしまうのではないかという問題である。2030年の日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替えが可能になるという説もある。半分の労働者が職を失いかねないということだ。

ただ、AIの開発には多くのデータが必要で、いわゆる『ビッグデータ』は、AI開発に欠かせないものとなる。そこで目をつけたのが、SNSの活用で、無料で、さまざまなデータが閲覧でき、とても便利なSNSだが、プロフィール、写真、削除された人や写真、IPアドレス、閲覧したページなど、実は、それを利用している人のデータもすべて保存されていることも事実である。

人工知能『東ロボくん』の生みの親、新井紀子教授は、AIロボットを東大理Ⅲ類（東大医学部コース）に入れるというプロジェクトを通して、“現在のAIは検索による膨大な知識はあっても文章の読解力が致命的にない。AIは『意味』を理解できない。“知識に比べ幼稚な知性”という見解を示した。また、文章の読解力が致命的にないはずの東ロボくんが、大学入試センター試験の50万人いる全受験生の上位20%に入るというそこそこの成績を収めたことで、文章の読解力が致命的にない現在のAIよりも読解力が低い高校生が相当数いることも明らかになった。

5 私たちがAIに仕事を奪われない人間になるためには

『与えられたものを消費するだけの人間』になるか、『自ら創造できる人間』になるかというのが新井教授からの問いかけだった。そして、社会が求めているのは『創造』できる人間であるというメッセージもくれました。

AIが紹介してくれたレストランに行き、AIが並べた自分に合いそうな商品を購入するという一見すると便利そうな世の中だからこそ、『「意味」を理解できる人間になること、それがAIによって不幸にならない唯一の道である。』とも述べている。

AIが欠かせない現実社会だからこそ、やがて来る未来を知り世界を知り、自分の『今』を決定する力こそ、AI社会で生きていく我々にとって大切な能力となっている。

6 インターネット利用者全員が身につけなければならないこと

お母さんは買い物に出かけ、赤ちゃんとお父さんが留守番をしているとき赤ちゃんが泣き出してしまった。泣き止まない赤ちゃんを前にお父さんは困ってしまい、お父さんはお母さんに電話した。お母さんは自分のスマホとお父さんのスマホを動画でつなぎ、自分のスマホに写る赤ちゃんに向かって赤ちゃんをあやす。それでも泣き止まない赤ちゃんを見て、お父さんはスマホを捨て、両手で抱き上げ、その胸に抱くと、赤ちゃんは満足そうに泣き止んだ。(タイのコマーシャル)

赤ちゃんの泣いている『意味』を考え、理解し、『今』自分のすべきことは、その赤ちゃんを抱っこしてあげることという行動を決定したお父さん。人の心の温かさ、ふれあうことでもたらされる安心感、人が人として生きていく上でとても大切なことである。

そして、現在のAI社会で生きていく以上は、『情報モラル』をしっかり身につけていくことはとても大切なことである。『ゆりかごから墓場まで』という言葉は、イギリスの社会保障制度のスローガンですが、生まれたときからこの世を去るときまで、至る所、AIに囲まれている。人の命のかけがえのなさの自覚のもと、しっかりした情報モラルを身につけ、未来を予想し、自分(たち)の今を決定できる人間になっていこう。

【第2回学校運営協議会開催！～委員のみなさまのご意見・ご感想を教育活動に生かします。～】

7月12日(木)に、第2回の学校運営協議会が開催されました。新たに委員に任命された3名のみなさまに委任状が手渡された後、学校運営協議会の新野会長様を座長に協議が開始されました。

今回は、学校側の説明は極力少なくし、事前に出されたアンケートにそって、各委員のみなさまよりたくさんのお話をいただくという流れで協議会を進めました。

委員のみなさまだけでなく、できれば、この学校だよりをお読みいただいているみなさまにも、たくさんのご意見・ご感想をたまわり、今後の学校経営の拠り所としてまいりたいと存じますので、そのアンケート項目について以下にお示いたします。

三春中学校は、今後とも、地域のみなさまに支えられ、地域のみなさまと共に、よりよい学校づくりに取り組んでまいる覚悟ですので、上記『学校だより』タイトルの右隣には、連絡先をお示ししてあります。どのような方法でも結構ですので、みなさまのお考えも届けていただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

○ 三春中学校学校運営協議会の委員のみなさまにお聞きした【アンケート項目】

- 1 現在の三春中学校や三春中生の印象はどのようなものですか。
- 2 再編前の地元中学校と再編後の新三春中学校との違いにはどのようなものがありますか。
- 3 再編前の地元中学校と再編後の新三春中学校とでは地域行事等への参加状況に変化はありますか。
- 4 地域の一員としての三春中学校や三春中生に望むことはどんなことですか。
- 5 三春中学校や三春中生が参加・協力できる地区行事や継承していきたい地域活動等があればお書きください。
- 6 今後の各地域と三春中学校や三春中生との関わり方はどのようなかたちがいいとお考えですか。

